

みんなでつくる魅力あるまち・ぎなん



ぎなん

議会だより

第 59 号

令和7年6月議会
9月1日発行



その主張が未来への第一歩

発表者の皆さん

特集 ごみ有料化 P4～5

定例会結果	P2
町村議会議長・副議長研修会 羽島郡町村議会議員総会	P3
一般質問「ここが、聞きたい」	P6～15
まちの笑顔を紹介!「VOICE」	P16

ぎなん議会だよりは
Web上でも検索できます

YouTube 岐南町議会
公式チャンネル

ぎなんぎかいだより

検索



マチイロ
まちを好きになるアプリ



令和7年度 町村議会議長・副議長研修会



令和7年5月27日 東京国際フォーラムにて、令和7年度町村議会議長・副議長研修会が開催され、櫻井明議長、松原浩二副議長が出席しました。

災害時における対応について、内閣府防災担当からは「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な防災DX」、他の講師の方からは、平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題、災害時の議会・議員の役割など、政治家の役割は大きいものであると再認識いたしました。

第69回 羽島郡町村議会議員総会



令和7年6月27日 第69回羽島郡町村議会議員総会が、古田聖人笠松町長、後藤友紀岐南町長を来賓にお迎えし、開催されました。

自治功労者表彰として、岐南町では加藤雅浩議員（在職16年超）が表彰されました。

記念講演は、航空自衛隊岐阜基地司令 空将補 山本光伸氏をお迎えし、「我が国を取り巻く安全保障環境と航空自衛隊」を演題とし、中国・ロシア・北朝鮮や中東など日本に影響のある世界情勢と航空自衛隊の現状について貴重なご講演をいただきました。

6月定例会ではこんなことが決まりました

賛成=○ 反対=●（※議長は採決に加わりません）

案 件		結果	木下美津子	渡邊憲司	櫻井明※	松原浩二	三宅祐司	松本曉大	村山博司	長谷川淳	加藤雅浩	広瀬恵理子
承認第 2 号	専決処分の承認を求めることについて（岐南町税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
承認第 3 号	専決処分の承認を求めることについて（岐南町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第 31 号	岐南町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第 32 号	岐南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第 33 号	岐南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第 34 号	令和7年度岐南町一般会計補正予算について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	令和7年度岐南町介護保険特別会計補正予算について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	令和7年度羽島郡二町教育委員会特別会計補正予算について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
議案第 37 号	町道路線の認定について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
【追加議案】 議案第 38 号	岐南町議会議員及び岐南町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
【追加議案】 議案第 39 号	岐南町非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
【追加議案】 議案第 40 号	令和7年度岐南町一般会計補正予算について	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
【追加議案】 議案第 41 号	財産の取得について（ハンドル式移動棚購入）	可決	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
同意第 1 号	羽島郡二町教育委員会委員の任命同意について	同意	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
選第 1 号	木曽川右岸地帯水防事務組合議会議員の選挙について（町長の推薦に基づき選挙する議員）	確定	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

議案の詳細につきましては、岐南町ホームページ「提出議案」ページをご覧ください。



提出議案
ページは
こちら



むらやま ひろし
村山 博司 議員

子育て支援政策

- Q** 新たなこどもの居場所の提供と、こども提案事業について、準備している内容は何か。
- A** (総合政策部長) 子どもたちの声を聞き、またアンケート調査の実施を検討しています。
- Q** 学童保育事業の業務委託選定に係る一般競争入札にした理由は。
- A** (こども未来部長) 放課後児童健全育成事業の請負実績がある事業者のみとし、プロポーザル方式の利点と、競争の透明性を併せ持つ一般競争入札としました。
- Q** 子育て中の人を対象に、就労のために必要な資格または免許の

- 取得、再就職や雇用形態の転換を支援するため、就職や仕事に役立つ資格や免許の取得に要する費用の一部を補助してはどうか。
- A** (総合政策部長) 町として新たな補助金制度を設けることは考えていません。
- 雇用管理上講ずべき措置の履行**
- 処分は適正に行われたのか**
副町長 適正な手続きを経て完了
- Q** 岐南町職員の懲戒処分(令和7年3月10日プレスリリース)の事実概要について、個人情報に配慮したうえで、詳細な資料提出、説明を求めるとともに、特に被害に遭われた職員の、就業するうえで看過できない支障とは何か。
- A** (副町長) 懲戒処分等の内容に関しては、今後プレス発表以上の詳細な内容は答弁しかねます。
- Q** 岐南町合同庁舎管理規則及び、岐南町職員の勤務時間・休暇等に関する条例について改正の予定は。



- A** (総務部長) 現在のところ、開庁時間の短縮に向けた検討をしており、開庁時間を早める、または、開庁時間を延長するためのフレックス制度の実施につきまして検討していません。
- Q** 人事制度や就業環境の改善、特に職員の休憩時間、職員の時間外勤務の管理は適正に行われているか。
- A** (総務部長) 条例及び労働基準法に定められた休憩時間が適正に運用できるよう、各所属において対応しています。時間外勤務は、職員の就業環境が悪化しないよう管理しています。
- 環境問題**
- Q** 資源ごみ回収による町の収入は。
- A** (基盤整備部長) リサイクル資源の売却による町の収入については、令和6年度は年間で約639万3千円です。
- Q** 拠点回収の導入による効果・対応策は。
- A** (基盤整備部長) 自己搬入施設の導入は、近隣市町のごみの流入を防止し、自治会ごと回収日も減らせることから、環境美

環境問題

町長の考える経済ビジョン

- Q** 地域経済の課題解決に対する、町長の方針や具体策は。
- A** (総合政策部長) 地域経済の基盤を支える中小企業・小規模企業の振興は、本町における重要施策の一つです。本年夏には町内中小企業の販路拡大や売上向上を目指し、セミナーの開催を予定しています。



- Q** 化監視員や、自治会の負担軽減が図られることが期待されます。
- Q** 岐南町廃棄物処理対策協議会からの提言書をもとにした町の取り組みは。
- A** (基盤整備部長) 新たに設置する自己搬入施設について、予約や利用方法、高齢者のみ世帯など、施設利用の困難な方への対応を含め準備を進めています。

定例会3日目

- 村山博司** 7
- ◎子育て支援政策
 - ◎雇用管理上講ずべき措置の履行
 - ◎環境問題
 - ◎町長の考える経済ビジョン
- 長谷川淳** 8
- ◎中途採用改革
 - ◎参加しやすい町民スポーツ大会を目指して
 - ◎交番(派出所)の増加を
 - ◎信号機なしの横断歩道は歩行者優先
 - ◎学校選択制(特定地域選択制)の導入を
- 松原浩二** 9
- ◎予算の効果的な使いみちを
 - ◎子どもたちのために
 - ◎活性化のまちづくり

定例会4日目

- 松本暁大** 10
- ◎岐南町職員の懲戒処分について
 - ◎自治会に対する行政の立ち位置とは
- 三宅祐司** 11
- ◎公共交通の未来に賭けて(第4弾)
 - ◎巡回バスのゆくえ
 - ◎災害と食糧危機に備える町づくりと広域連携
- 広瀬恵理子** 12
- ◎中学校部活動の地域移行に向けて
 - ◎児童生徒の安心安全について
- 加藤雅浩** 13
- ◎AI導入で業務効率化と町の次なるステップ
 - ◎すべての子どもに、居場所と学びを届ける町へ
 - ◎町における放課後の子どもの居場所づくりと学童保育のあり方について
- 渡邊憲司** 14
- ◎学校について
- 木下美津子** 15
- ◎学校図書館の整備・充実
 - ◎液化化対策の地盤改良工事への助成
 - ◎帯状疱疹ワクチン定期接種開始と対応



6月定例会



9人の議員が
質問しました

「こころが、聞きたい」 一般質問Q&A

一般質問とは、議員が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町に求め、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。
この議会だよりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

一般質問の全容は
YouTubeを
ご覧ください

【定例会3日目】



【定例会4日目】





・・・一般質問・・・

6月定例会 3日目



まつばら こうじ
松原 浩二 議員

A (総合政策部長) 公益社団法人岐阜県都市整備協会に業務の一部を委託し、地権者の意向を踏まえながら具体的な利活用を進め、慎重に探っていきます。

Q 笠松競馬厩舎跡地利用の調査研究の成果は。

A (総合政策部長) 特定の事業へ充当されるものではなく町政運営の中で有効に活用されます。

か。

Q 減額した町長の報酬は、何に使われて成果はどのようなものであったか。

国保や介保給付増大対応を部長 担当課や町民との連携を重視

予算の効果的な使いみちを

Q す。

A (こども未来部長) これまで通りの運営を予定しています。

Q ほほえみ子ども館の今後の運営方針は。

子どもたちのために

プする事業を実施しています。

A (健康福祉部長) 国民健康保険給付費は年々増加傾向で、AIを活用した特定検診率向上事業として集団検診の効率化を進め、サンキョー検診や人間ドック費用助成者を拡大するなどしています。また、地域ボランティアによるサロン、老人クラブ、運動サロンをバックアップする事業を実施しています。

Q 病気や介護状態になってからではなく、予防のための健康体操教室や認知症・介護予防教室など、他自治体のように岐阜薬科大学と連携するなど効果があらわれているところもあり、進めていくべきと思うが対策は。

物価高騰など町民の生活に負担増となっており、今後も続くことが予測される。岐阜県は介護保険料が全国でも6番目に高く、国保とともに、さらに圧迫の傾向である。



・・・一般質問・・・

6月定例会 3日目



はせがわ じゅん
長谷川 淳 議員

中途採用改革

現在、民間との人材獲得競争は激しさを増すばかりです。

Q 中途採用の改革を進める考えはあるか。

A (総務部長) 本町としても、就業経験を持つ即戦力となり得る人材の採用は非常に有益と考え、中途採用の改革を進めています。一つ目に、公務員経験を有する方を対象に10月1日の採用を目指した採用試験を導入します。また、社会人経験者の採用についても、年度途中での採用を可能とすべく準備を進めています。二つ目に、SNSを活用した案内とホームページ内の職員募集ページを充実させること

とに加え、転職求人サービスを試験的に導入します。三つ目に、社会人経験者採用枠の応募者には従前の一般教養試験でなく、職務基礎力試験を導入しています。

参加しやすい町民スポーツ大会を目指して

新種目の採用ハードルは部長 まずは競技団体の設立を

Q 町民スポーツ大会の種目を変更すべきと考えるがどうか。

A (住民部長) 町が主催する大会ではないので権限はありません。提案については協会に伝えます。引き続き生涯スポーツに親しめる機会の充実に取り組んでいきます。

Q 新たな競技が種目となるためには何が必要か。

A (住民部長) 新たな種目の大会を開催するためには、まず協会に加盟する団体を設立し、審議することなどが重要です。



交番(派出所)の増加を

現在岐南町内の交番の数は1か所だけです。ここ最近強盗事件も多発しています。

Q 交番を増やすべきと考えるがどうか。

A (基盤整備部長) 交番の増設については大変有意義なものと認識しています。しかし、岐阜県においては「令和5年4月1日現在、226施設ある交番・駐在所は、特に、駐在所の設置や運用を中心に見直すこととなり、令和15年度を目途に、施設数が170施設程度となる」見込みが示されました。町としては県の指針を承知しつつも、パトロール体制の強化などと併せて、交番の増設についても岐阜羽島警察署等に働きかけをしていきたいと考えています。

信号機なしの横断歩道は歩行者優先

岐南町が交通事故対策に本気の町であると感じてもらえたら、「選ばれる町」に近づき、岐南町に移住しようか迷っている方への一押しになるかもしれません。

Q 町としてこの問題に取り組む気概はあるか。

A (基盤整備部長) 岐阜県における取組等を参考にし、SNSやホームページ、LINE等にて交通安全に関する啓発を発信し、町内の一旦停止の向上に努めます。ハード面における横断歩道の整備としては、ドライバーの視認性を確保するためのカラー舗装やポストコーンの設置を施し、横断歩道前での一旦停止を促す手立てを講じていきます。



学校選択制(特定地域選択制)の導入を

Q 学校選択に關しての相談はどのくらいあるか。また特定地域選択制を導入してはどうか。

A (教育長) 令和7年度に向けて学校選択に關する相談はありません。今後、地域やPTAの総意があればまずは調査を行い、検討していきます。

A (総合政策部長) 現時点では未定ですが、居場所づくりとして然るべき時期に予算計上したいと考えています。

Q 兄弟姉妹の通園先が2か所以上にならない配慮をすべきでは。

A (こども未来部長) 今年度はさくら、来年度はうれしのの各こども園において未満児定数増で保護者の負担軽減になります。

Q 子どもたちを対象とした虫歯予防にキシリトールラムネを。

A (こども未来部長) まずは町内保育施設へ情報提供します。



活性化のまちづくり

Q 人口減少が進み、岐南町も例外ではなくなっていくと予測されるが、自治会や老人クラブ、子ども会など各地域に活気があれば町全体も良くなる。加入率が減っていく傾向であるが対応をすべきでは。



Q 元気なまちづくりの継続のためには、超高齢化社会における老人クラブ(ほほえみクラブ)の活性化も大事であるが対策は。

A (健康福祉部長) クラブ数と会員数ともに減少傾向で、名称を岐南ほほえみクラブに変更し、交通安全大学校開講や補助金交付など支援していきます。



みやけ ゆうじ
三宅 祐司 議員

**公共交通の未来に賭けて
(第4弾)巡回バスのゆくえ**

**ワークシoppの議題は
部長 バスに限定したものではない**

答弁にある利用者の実績や高齢者を対象にしたアンケート調査結果等により本町の公共交通が「コミュニティバス」ではなく「ミニミニタクシー」であるということが、はっきりしました。しかし、町長は、「税金の無駄をなくすために巡回バスを早期廃止」とおっしゃった一方で約1年間にわたり実質的な対応がなされなかった、要は「前町長の負の遺産だ」と位置づけ廃止を打ち出したものの、その後の具体的な対応や代替策が示されないことから明らかに、これは感情的、政治的な対応が先行し、ロジック



まつもと あきひろ
松本 暁大 議員

岐南町職員の懲戒処分について

前議会では議会・職員共にハラスメント条例が制定された。そんな中、直前に職員の処分が行われ、プレスリリースが出された。そこには前町長名の記述があり、何がどういうことで職員がパワハラに該当するのか、少しの内容もカケラも分からず、条例制定直前という時期、ハラスメントで職員を処分するという重大な案件においてこの不可解なプレスリリースに強く関心を持った次第です。メディア等を見聞きした方々からも「分からない」「何を目的としているのか」多数のお声もいただきました。ハラスメントの判断基準は一定の客観性が必要であり、一方的なものではなく、その判断は非常

に難しい。処分もしかり、公務員としてのこれから大きく関わるものです。ハラスメントの内容を公開すること、条例制定は単に罰するためにあるものではなく、そのものの抑止としての位置付けにもなっていたかと思えます。これでは何の意味があるのでしょうか。いずれにせよ、事案概要を始め、職場環境づくりを重点に置かれている意味でもご質問します。

処分概要が全く分からない 部長 詳細な答弁は差し控える

Q ①当事者すべてに聞き取りしたか②業務上必要のない報告行為とは③メディアにどのように説明したか④処分者の範囲とは。

A (総務部長)①厚労省の指針に則り運用しています。②処分は終結し、公開できません。③個人を特定する情報は提供しておらず、本人の発言は引用していません。④委員会での決定事項であり、範囲・内容など詳細は控えます。

Q このような不透明さがかえって疑心暗鬼を生みかねない案件、今後どうされたいのか。

A (町長) 全体最適を追求することです。安心して町民のために力を発揮できる環境をつくる

いう使命をこれからも誠実に果たすために、感情や憶測ではなく、事実と責任の視点から、冷静に町政を担っていきます。



【詳細は岐南町議会 YouTube】

そこに
「事実と責任」
はあったのか

自治会に対する 行政の立ち位置とは

Q 広報誌配布の際に会員がケガをされ、町が勧める自治会保険が適用されない事案があった。まず見解を。また、紙ベースで会員に対し全戸配布しなければならぬ理由と、今後の見通しは。

A (総合政策部長) この事案を保障すると、保険料が高額となることが予想されます。安心して配布作業を行っていただくための保険の重要性は十分に認識しており、補償内容等を含め、提案し

フや客観的データ、実態、合理的な判断に基づいた決定とは言えない状況です。

また、総合政策部長のご発言、そして町長のお考えやその思いの背景には、「バスの継続」や「見直し」というテーマを、ワークシoppの議題としてあえて取り上げず、回避しようとする意図があるのではないかと受け取れます。言い換えれば、町として巡回バスの在り方をあえて議論の俎上に載せず、令和8年度末の契約満了をもって、バスのフェードアウト＝自然消滅を狙っているのではないかという印象も否めません。

Q 今回の住民ワークシoppでは、事前のアンケート調査により優先順位の高かった「通勤・通学」といった観点を、町として議題に加える考えがあるか。

A (総合政策部長) 実施を予定しているワークシoppにつきましては、ミニミニバスや通勤・通学という特定のテーマに限定したものではありません。

Q 現在の岐南町には、田畑としての土地の余地も限られており、たとえば「田んぼダム」のように、自然災害時に緩衝的な役割を果たす防災機能も十分ではない。たとえば山県市のように、人口は同程度ながら土地面積が28倍もある地域との連携を視野に入れ、「有事の際には農作物の供給地として協力を仰ぎ、平時には費用負担や消費協力を行う」または、その広大な土地を岐南町が借りて米作りをするなど、「備えとしての協定」を結ぶ考えはあるか。

災害と食糧危機に備える 町づくりと広域連携



相互補完で築く連携協定は 部長 協定締結は考えていません

Q 現在の岐南町には、田畑としての土地の余地も限られており、たとえば「田んぼダム」のように、自然災害時に緩衝的な役割を果たす防災機能も十分ではない。たとえば山県市のように、人口は同程度ながら土地面積が28倍もある地域との連携を視野に入れ、「有事の際には農作物の供給地として協力を仰ぎ、平時には費用負担や消費協力を行う」または、その広大な土地を岐南町が借りて米作りをするなど、「備えとしての協定」を結ぶ考えはあるか。



抜本的な排水対策計画は 部長 雨水断面拡幅整備を進める

Q 抜本的な排水対策計画で水路の拡幅・増設による排水能力の強化は。

A (基盤整備部長) 直近の事業では、令和4年度より下印食雨水幹線の断面拡幅の整備を進めており、令和9年度末には事業計画区域の約76%が完成する見込みです。



その場しのぎの対処療法では一向に解決しない。町としての5年・10年先の将来像を描いた上で、具体的な施策を示すべき。

A (総合政策部長) 本来、これらの業務は町として責任を負うべきものと考えていますが、直接担うことは困難であり、他の行政サービスへの影響が出る可能性があります。今後もお力添えとご理解、ご協力をお願いします。

Q 広報誌配布、街道の清掃業務など、町から委託事業を再委託することについて。これらを拒否したらどうされるのか。

ていきたいと考えます。また、デジタルだけで情報を届ける難しさが浮き彫りになっている現状があり、全戸配布、情報の受け取り方の多様化はもちろんのこと、地域の繋がりという役割もあることから、今後重要であると考えています。

A (基盤整備部長) 災害時の食料供給地として他市町村と協定を結ぶ考えについては、現在協定中である岐阜県および近隣市町村との災害時相互応援協定の中でも食料物資の支援が受けられるため、本町独自の協定の締結については考えていませんが、広域自治体として、香川県宇多津町、京都府久御山町とは、災害時相互応援協定を締結し情報交換をしています。



・・・一般質問・・・

6月定例会 4日目

かとう まさひろ
加藤 雅浩 議員

現在の町のDXの取り組みを、段階（デジタル化→クラウド化



（総務部長） 少子高齢化が進む中、限られた職員数で質の高い行政サービスを維持するには、AIやRPAなどの自動化ツールが不可欠であると認識しています。



少子高齢化が進む中で、AIやRPAのような自動化ツールを、職員が創造的な業務に集中するための「戦略的パートナー」として、どのように位置づけ、活用すべきと考えているか。

町のDXの取り組み段階は部長 書かない窓口推進が課題

AI導入で業務効率化と町の次なるステップ



限られた職員数で今後も質の高い行政サービスを維持するには、AIが不可欠



国が検討している「個別の指導計画」特例制度について、町としてどのように受け止め、どのような準備を進めようと考えているか。

すべての子どもに「居場所と学び」を届ける町へ



教員が指導員として登録され、負担増も予想できるが働き方改革になっているか。



（教育長） 部活動の指導を希望する教員に対しては、兼職・兼業の申請・承認を得て、休日部活動の指導ができるようにしています。



各家庭の費用負担は、部活動と比べ現状増えているか。



（教育長） 各種目の詳細まで把握できませんが、スポーツ安全保険に加入する分は費用が掛かることとなります。これまで「保護者クラブ」で加入されていれば「地域クラブ」になっても費用負担は「保護者クラブ」と大きく変わることはないと考えています。



2025年度末までに、地域移行は可能か。



（教育長） 国も県も、現段階で「地域クラブ」の定義を定めていない状況ですが、視点が整理され、要件を満たせば、「地域クラブ」と考えることができることから、可能であると考えています。



児童生徒の安心安全について



不審者事案が発生しているが各学校での具体的な働きかけは。



（教育長） 各学校では、すぐるによる保護者への啓発、放送による指導も含め、担任から不審者事案への具体的な指示を出し対応しています。危機管理マニュアルにある「校門」「校門から校舎入り口」「校舎入り口でのチェック体制」の3段階チェックとともに、マニュアルの更新状況を確認しました。



近隣市町で不審者事案が起きた場合、通常通りの登下校をするのか、引き渡しをするのかの判断は。



（教育長） 基本的に岐阜羽鳥警察署または岐阜県教育委員会学校安全課からの情報を基に対応します。



校区内で刃物などを持っている危険度の高いケースでは、学校待機などで安全の確保や引き渡しを実施する判断はどのようにしているか。



（教育長） 下校については、近隣で目撃情報が続いているような状況であれば、待機をして引き渡しと判断します。



岐南町内の小中学校で行われた引き渡し訓練の成果と課題は。



（教育長） 事前に迎えが難しいと連絡いただいた家庭が30件ありました。保護者の参加率は東小100%、西小100%、北小100%、岐南中99%でした。引き渡し完了までの平均時間は、小学校1時間54分、中学校が2時間でした。成果は、雨天時の保護者誘導や、グラウンドに線を引けない中での駐車場の確保など、臨機応変に動き、実際に想定した訓練ができました。課題は、保護者の動線は案内してありましたが、逆走される方があり、危険な状態になることを実感できました。

今後より一層実践的な訓練となるよう努めていきます。



（教育長） 国の不登校特例制度は、教育課程の弾力的な運用が可能となる望ましい制度と認識しています。スマイルでは、個々の目的に応じた柔軟な支援を計画的に進めており、これが個別の指導計画に準じたものと捉えています。

町における放課後の子ども居場所づくりと児童保育のあり方について

学校施設の放課後活用は教育長 各小学校長も了承済み



放課後子ども教室の積極的な活用による児童保育ニーズとの効果的な役割分担と、その実現に向けた具体的な推進策は。



（こども未来部長） 放課後子ども教室は学習支援や遊びを通じた成長促進の場、児童保育は就労中の預かりを目的としています。町では地域子ども教室Gさうすを実施し、昨年度はキッズウィークに児童保育室で交流機会を提供しました。今後も相互に補完し合い、より良い環境を提供できるよう努めます。



学校施設の放課後活用における「二町教育委員会」としての課題認識と、「岐南町子どもたちのた



愛知県東郷町の放課後子ども教室「きらきらこども」を参考に



学校施設利用の円滑化に向けた先進事例に学ぶ姿勢と、協定締結等による制度的保障の検討状況は。



（教育長） 学校施設利用の円滑化に向けた先進事例として東郷町の取り組みを参考に、運営上の留意点（保護者への説明、安全確保、活動環境の整備、備品破損防止など）を考慮し、当町担当部局と連携を図ります。

め「の主體的な学校現場への支援・連携方策は。



（教育長） 放課後子ども教室等の開催に向け、授業に支障がない限り学校施設利用に全面的に協力しており、各小学校長の承認も得ています。運営上の留意点として、保護者への説明、安全確保、活動環境の整備、備品破損防止などが挙げられます。今後、これらを含め、担当部局と連携して必要な整備を進めます。

もっと知ればもっと好き！
まちの笑顔とチャレンジを
ご紹介します!!

VOICE



TAKESHI さん

夢中の先にある連鎖を 生み出す道具

町内の保育園で保育士として働きながら、けん玉スピナーを名乗り活動しているTAKESHIさん。スピナーとは回転するもの。もともとヨーヨーは得意だったそうですが、保育園の行事で子どもたちに見せたのがきっかけとなり、保育の中で、けん玉遊びを実践するようになりました。もっと技を磨こうと、TAKESHIさんは「けん玉先生(グローバルけん玉ネットワーク認定)」の資格も取得。昨年のぎなんフェスタでは、その見事な技を多くの来場者の前で披露しました。にぎわう会場で、ご覧になられた方もいるのではないのでしょうか。

さらに、県が進める木育活動や、子育て支援の一環としてけん玉ワークショップも開催しています。けん玉は、子どもたちとおじいちゃんやおばあちゃんをつなぐ楽しい道具になっています。

～けん玉スピナーTAKESHIさん～



▲柳ヶ瀬グラッスル35のGテラスで



▲トランクケースの中はワクワクがいっぱい

表紙の題字

「ぎなん」

岐南中学校3年

いとう りこ

伊藤璃子さんの
作品です

編集後記



ありがとうございます

■今回は5月に行われました、ごみ有料化に関する住民説明会の特集を組みました。町民の皆様から頂いたご意見を精査し、可能な限り寄り添った形になるように最後まで働きかけます。また、今号をもって広報委員長職務が終わります。皆様1年間ご精読頂きましてありがとうございます。(長谷川)

■今回VOICEを担当しています。町にはいろいろな形で地域のために活動されている大勢の方がお見えになります。思いは様々ですがそこには「誰かのために」という気持ちで溢れています。やりがいを持ち挑戦できる町!とても素敵な町です!(広瀬)

■任期をいただいた4年間もあと少しとなりました。自分が出たことはやったつもりですが、結果としては100%満足というわけにはいかなかったです。また、自己満足ではないでしょうから、町民のご意見をたくさん頂戴したいと思います。(松原)

■ごみ有料化の説明会が開催された。公聴会という様相ではなく、単に決定事項を説明するものであったが、住民のガス抜きといった側面もあったかもしれない。しかし、執行権者が欠席の中で、町としての姿勢・住民の理解を得ながら共に取り組むという姿勢は十分に伝わったのだろうか。私には感じ取ることができませんでした。(松本)

■今年5月13日、世界で最も貧しい大統領と言われるウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領が死去されました。大統領時代収入の9割を貧困層に寄付、生活費は毎月15万円相当で、「質素なだけで一度も貧しいと思ったことはない。実の子はいなくても、国民が子供のような存在。むしろ自分は豊かだと思う。」と話してみえました。世界で一番心の豊かな大統領のご冥福をお祈りいたします。(村山)

議会広報 特別委員

委員長 長谷川 淳
副委員長 広瀬 恵理子
委員 松原 浩二
委員 松本 暁大
委員 村山 博司